

ハンディ pH + オートクレーブ対応の pH 電極

用途

薬品、バイオテクノロジー、食品&飲料業界



食品

製薬・バイオ



ハンディの手軽さと滅菌できる電極

広く使われるハンディ用の pH 電極は、測定対象を意識した形状、性能、そして「サンプリング」による測定に重点が置かれ、結果としてオートクレーブを必要としない測定としています。このため衛生管理を必要とする場合はアルコール等での消毒になり、サンプルは測定後廃棄されることになります。

しかしサンプリングをせず直接測る必要がある時、あるいは汚染に敏感な対象を測定する場合など、確実な滅菌が必要な測定ではオートクレーブに対応した高耐久電極が必要になってきます。プロセス pH 用の電極では普通に求められる性能がハンディ pH 用途でも必要となってきます。本ノートではオートクレーブ対応の pH 電極の形状、選択肢、またハンディでの記録手段についてご紹介します。

基本形状

オートクレーブに耐える pH 電極の形状はラボ用途と異なり、プロセス用のものとなっています。直径 12mm、先端がドーム型、取り付け用ネジ (PG13.5) が付いています。長さは 120mm から 425mm の 6 種類が用意されています。例としてイージーファームバイオ pH 電極を以下に示します。電極のネジは標準的な培養容器、ホルダーに取り付けて使用することもできます。

EasyFerm Bio HB VP シリーズ (243632-21XX)




名称	型式	長さ
EasyFerm Bio HB VP 120 Pt1000	243632-2112	120mm
EasyFerm Bio HB VP 160 Pt1000	243632-2122	160mm
EasyFerm Bio HB VP 200 Pt1000	243632-2132	200mm
EasyFerm Bio HB VP 225 Pt1000	243632-2142	225mm
EasyFerm Bio HB VP 325 Pt1000	243632-2152	325mm
EasyFerm Bio HB VP 425 Pt1000	243632-2172	425mm

<EasyFerm Bio HB VP シリーズ>

自動温度補償を使用する場合は温度計の滅菌も必要になるため、電極に温度計を内蔵したのも用意されています。

記録を取る

用途

移動式の容器などで測定器も一緒に移動し一定期間測定したい。

恒久設置はせず一時的に測定したい。

プロセスと同じ条件で検証するため、同様の pH 電極を使い評価したい。

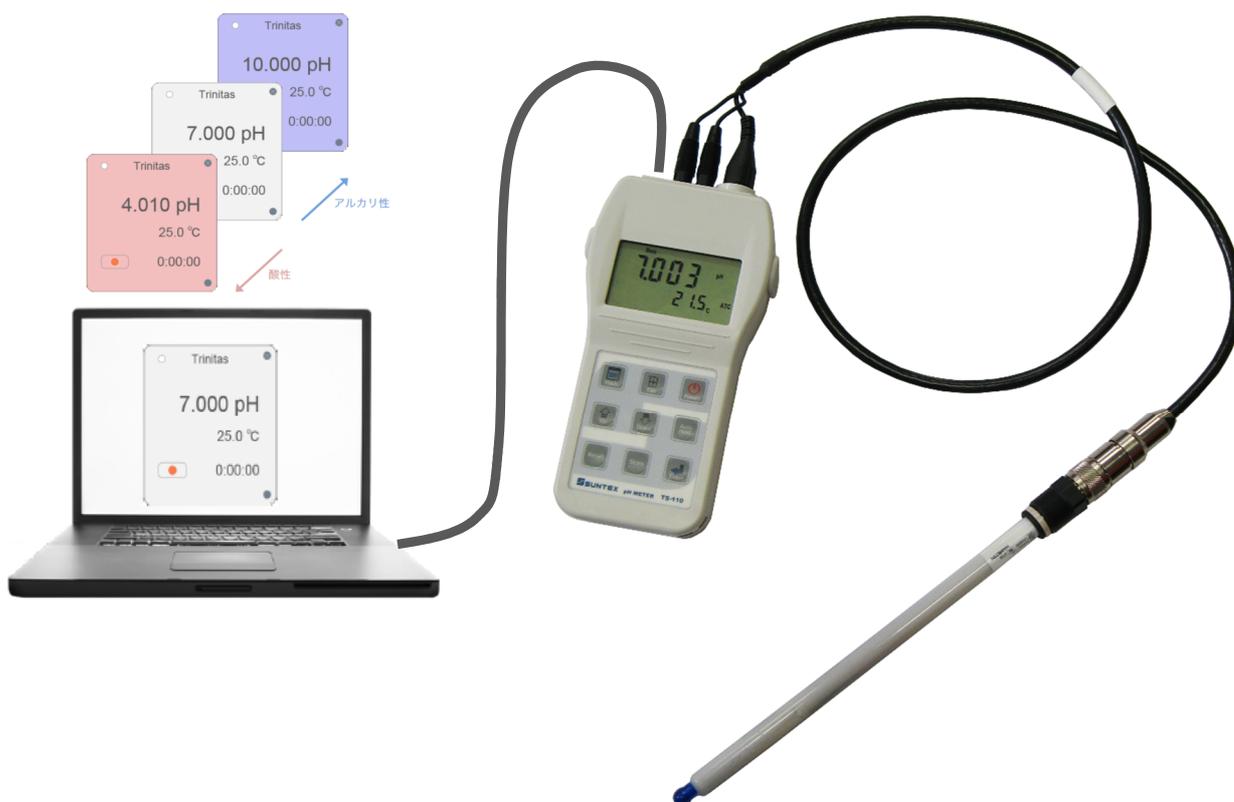


必要な時に測定できるハンディ pH ですが、記録を一定時間取りたい場合、ハンディ pH に付属する通信機能を使うと便利です。

TS-110 には予めシリアル通信用ケーブルが同梱されています。

お手持ちの PC にシリアルポートがない場合は、USB シリアル通信変換器を使用して接続、フリーウェアのロギングソフト「トリニタス」をダウンロードして PC に直接データを取り込むことができます。

ポリライトプラス H VP 225mm 電極との組み合わせ例（ケーブル長 1m）



製品は改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。ご検討の際は担当にご確認ください。

お問い合わせ先

MAIL: toiawase_pd@tactec.co.jp ハミルトン担当窓口

TEL: 0297-83-0721

 株式会社 ティ・アンド・シー・テクニカル

本社: 〒110-0003 東京都台東区根岸 1-2-17

取手事業所: 〒300-1514 茨城県取手市宮和田 448-1

ホームページ: <http://www.tactec.jp>